

学校番号(1) 学校名(旭丘小学校) 教科名(算数)

各教科の1単位時間の配慮点

	指導の配慮点	評価の観点			
		関心・意欲・態度を向上させるための手立て	思考・判断・表現を向上させるための手立て	技能を向上させるための手立て	知識・理解を向上させるための手立て
導入	チャイム着席、学習準備を繰り返し指導し、学習規律を確立する。 前時の学習内容の確認を行って、本時の学習が円滑に導入できようにする。 本時の目標について説明し、ねらいをはっきり伝える。	具体物や教材を十分に準備し、児童の習熟度に合わせた課題を提示したりして、意欲・関心を高める。	1時間の学習内容が振り返りやすいノート作りをする。 問題 自分の考え 友達の考え まとめ といった書き方	学習のルールや用具の適切な使用方法を確認する。	公式や用語の意味などを毎時間確認する。 必要に応じて前時までの簡単な復習問題を行う。
展開	課題解決の時間を十分に確保し、机間指導をしながら。児童一人一人の実態に合わせた助言をしていく。 児童の考えを発言させる場を十分に設定し、児童相互に自分の考えとの相違を考えさせる。 算数における言語活動を重視し、聞き手に分かりやすく伝える資質の向上を目指す。 基礎・基本の充実を図るために、必要に応じて反復練習を心掛ける。	既習内容を生かすことで、自分で解法を考えられるような主体的に学習に取り組む態度を育てる。 適切な助言やアドバイスカードを活用することで、つまずきをなくし、分かる喜びが意欲につながるようにする。	課題解決の時間を十分にとり、言葉、数、式、表、グラフなどを用いて考えさせる。 自分の考えを表現できたり、友達の意見を聞き自分の考え方を深められたりするような時間の設定を行う。	机間指導を中心とし、個別の実態に合わせた指導を行うことで一人一人の理解を高める。 つまずきの原因を分析し、練習問題を繰り返し行い、基礎・基本の定着を図る。	東京ベーシック・ドリルなどを活用して反復学習をする。 知識・理解にかかわる問題を数多く解くことで、公式や用語、名称などを理解できるようにする。
まとめ	本時のねらいが十分に達成されているか、児童自らも振り返ることで次時の学習活動につなげる。	本時の学習で、分かるようになったことやできるようになったかをまとめる。	課題に対してどこまで解決に迫れたのかを評価する。	まとめの問題を行い、確実に定着したことを確認する。	本時学んだ知識をノートにまとめることで明確にする。

学校番号(1) 学校名(旭丘小学校) 教科名(社会)

各教科の1単位時間の配慮点

	指導の配慮点	評価の観点			
		関心・意欲・態度を向上させるための手立て	思考・表現を向上させるための手立て	資料活用の技能を向上させるための手立て	知識・理解を向上させるための手立て
導入	チャイム着席、学習準備を繰り返し指導し、学習規律を確立する。 興味関心を高める教材・教具を提示する。 前時の学習を振り返り、本時の学習課題を確認させる。	自分の生活や地域に関連した事象にであわせることによって本時への意欲・関心を高める。 ICT機器を活用する。	導入で提示した資料から、どんなことが読み取れるか、予想されるかを考えさせる。	児童の実態や既習内容の必要性に応じて振り返りをさせる。 資料の正しい読み取り方について、指導または確認をする	既習のノートを振り返らせることで、本時の学習につなげる。
展開	課題解決のための資料や具体物を提示する。必要に応じて観察・調査・見学などの体験的な活動を取り入れる。 資料を正しく読み取ったり活用したりできるように基礎的な知識や技能を指導する。 資料等の根拠に基づき、社会生活や社会的事象、我が国の歴史について自分なりの考えがもてるように促す。	既習学習を生かすことで自分から解決しようとする意欲をもたせる。 個人やグループなどさまざまな形式をとることで、考えを深めさせる。 机間指導をし、意欲を引き出す。	ノート作りを工夫させる。(課題 予想資料から読み取れること 自分の考え・その根拠 友達の考え まとめ) 机間指導で、個別に問いかけ、自分なりの考えをもてるようにする。	根拠とする資料を明確にさせる。 机間指導をしながら個別あるいはグループの進行状況を確認し、実態に合わせた指導を行うことで理解や技能を高める。	既習事項や関連事項を教室掲示することで児童への習熟と知識向上を図る。 重要な語句について調べさせたり、ノートに分かりやすくとったりさせる。
まとめ	お互いの考えについて意見交換をさせ、本時のまとめをする。 学習感想を書かせ、考えをまとめさせたり、学習の振り返りをさせたりする。	本時に学習したことを自分の言葉でまとめさせる。	友達の意見を聞き、自分の考えと対比させ、考えを広げられるよう指導する。	資料の読み取りが正しかったかどうかを確認させる。	理解したことを、重要な語句を用いるなどして、整理して書かせる。

学校番号(1) 学校名(旭丘小学校) 教科名(図画工作)

各教科の1単位時間の配慮点

	指導の配慮点	評価の観点			
		関心・意欲・態度を向上させるための手立て	発想や構想の能力を向上させるための手立て	創造的な技能を向上させるための手立て	鑑賞の能力を向上させるための手立て
導入	チャイム着席や、私語を慎むことを繰り返し指導し、授業規律を確率させる。 作品制作の内容とねらいを板書や見本作品を使って簡潔に説明し、学習意欲を高める。	簡潔に要点をつかませ、制作する時間を十分に確保する。 安全に楽しく活動をするための約束を、具体的に伝える。	自分の作りたいものを、イメージするために考えをワークシートにまとめたり、図や資料をみたりさせる。	分かりやすい図や資料を使って、制作手順の理解を深めさせる。	
展開	教科書や見本作品を参考に、本時の制作手順や表現の工夫について見通しをもたせる。 アイデアスケッチや材料などから発想を広げ、自分の思いや考えを作品に表すように工夫させる。 児童が自分のイメージに合った色や形を表す為に、表現を実演して見せたり、材料を試させたり、友達や見本の作品を参考にさせる。	見本を見せ、視聴覚教材等も利用しながら学習のめあてや見通しを持たせる。 児童の考えや発想を教師が認め、発想を広げやすくする。	自分らしい表現について、児童達が楽しみながら追求し、工夫する部分を残しておく。	児童の技能を見極め、具体的な制作手順を提示すると共に、多様な表現方法を掲示し、制作活動の参考にさせる。	友達と話し合ったり、教え合ったりして、表現方法について探求する楽しさを味わわせる。 お互いの作品を鑑賞し、そのよさや面白さを感じ取らせる。
まとめ	作品や材料、用具の片付けと教室の掃除をさせる。 本時の活動内容を振り返る。 ねらいに沿った評価を行う。	ワークシートに簡単な自己評価を記入し、本時の学習を振り返らせる。	思いついた表現や工夫について、自分の考えをまとめさせる。	思いついた表現や工夫がどのようにできたか振り返りをさせる。	作品のよさについて鑑賞カードに記入したり、発表したりして振り返りをさせる。

学校番号(1) 学校名(旭丘小学校) 教科名(生活)

各教科の1単位時間の配慮点

	指導の配慮点	評価の観点		
		関心・意欲・態度を向上させるための手立て	思考・判断を向上させるための手立て	気づきを向上させるための手立て
導入	<ul style="list-style-type: none"> ・チャイム着席、学習準備を繰り返し指導し、学習規律を確立する。 ・前時の学習を振り返らせ、今日の活動の課題を確認させる。 ・既習学習の学習カードを提示しておく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・わかったことやできるようになったことの振り返りを通して、一人一人がしたことを称賛し、意欲を高める。 ・できるようになったことを事前に知り、児童の発表への願いや思いをつかむ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・わかったことやできるようになった内容を振り返らせる。 ・振り返りの難しい児童には、カードに書いたことを読み返すように伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分ができるようになったことに気づけるように、できたことを称賛する。 ・友達のよさに気づくように、できるようになったことを価値づける。
展開	<ul style="list-style-type: none"> ・自分が取り組んだことを発表する準備をさせる。 ・いろいろな発表の仕方を提示する。 ・自分が考えた発表の内容と発表の方法をカードに記入させる。 ・記入したカードをもとに必要なものを作らせる。あるいは、気付いたことを発表させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・わかったことやできるようになったことを友達に伝えたいという思いをもたせる。 ・今までに発表がしっかりできた場面を思い起こさせ、発表会への意欲を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分ができるようになったこと気付いたことの中から友達に伝えたい内容を考えさせる。 ・発表のイメージをつかませて、自分なりの発表を考えさせる。 ・机間指導をして、よりよい発表のための工夫を一人一人に示す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分のしたことを、自分らしく発表するよさに気づくことができるように、価値づける。 ・家族、友達など身近な人の言葉を想起させ、励ましてくれたり支えてくれたりしていることに気付かせる。
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の今日の活動を振り返り、自己評価カードに記入する。 ・次時の活動を知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動の中で頑張ったこと、気付いたことを認め価値づける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動の中で上手にできたこと、自信がもてたことを自己評価カードの中に自分の言葉で表現させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自己評価カードの記入を通して自分ができるようになったことや自分のよさに気付くように活動を称賛する。

学校番号(1) 学校名(旭丘小学校) 教科名(体育)

各教科の1単位時間の配慮点

	指導の配慮点	評価の観点			
		関心・意欲・態度を向上させるための手立て	思考・判断を向上させるための手立て	技能を向上させるための手立て	知識・理解を向上させるための手立て
導入	<p>服装、整列の仕方、準備運動の仕方、安全のための約束等、繰り返し指導し、学習規律を確立する。</p> <p>授業の内容とねらいを簡潔に説明し、学習意欲を高める。</p> <p>運動領域の特性を意識した準備運動や補助運動を行う。</p>	<p>簡潔に学習の見通しをもたせる。</p> <p>学習のめあてをもたせる。</p> <p>運動のための準備や準備運動に目的意識をもって取り組ませる。</p>	<p>本時のめあてを確かめ、目標に向かって運動に取り組ませる。</p> <p>自分のめあてに沿った練習方法や練習の場を決めさせる。</p>	<p>運動領域の特性を生かした補助運動を継続的に行い、基本的な動きを身につけさせる。(コーディネーショントレーニングなど)</p>	<p>日常生活を送る上で健康・安全が大切な要素であることをつかませる。</p> <p>普段の自分の生活を振り返り、健康・安全に生活するための課題をつかませる。</p>
展開	<p>児童の運動量・活動時間が長くとれるようにする。</p> <p>運動の特性をふまえた運動する楽しさやできようになった達成感が味わえるようにする。</p> <p>友達と励まし合ったり教えあったりができるように望ましい言葉かけや運動のポイントを示す。</p> <p>めあてを意識した運動ができるように学習形態や学習資料、学習カード等を活用する。</p>	<p>友達と協力して運動の準備や片付けをさせる。</p> <p>技の向上やチームの勝利のためにすすんで運動したり練習したりできるようにする。</p> <p>勝敗を素直に受け止め、公正・公平な態度(フェアプレー)を養う。</p>	<p>基本的な動き方や動きのポイントを知るとともに自分の課題がわかるように助言する。</p> <p>自分の課題にあった練習の場や方法が選べるように学習資料等で提示する。</p> <p>自分の課題にあつためあてをもったり練習方法を選んだりできるように学習カードを活用する。</p> <p>自分たちで安全に配慮できるように約束を確かめる。</p>	<p>動きの見本(児童の見本・映像資料等)をみせ、よい動きのイメージをもたせる。</p> <p>ICT機器などを活用し、自分で自分の姿を確認することで、自分の課題を見つけさせる。</p> <p>運動のポイントを示す学習資料を活用する。</p> <p>友達のよい動きや改善点を見つけ、交流し合う。</p>	<p>実験や観察を取り入れたり、ゲストティーチャーに迎えたりしながら、自分の健康や安全を守るために大切な事柄を理解させる。</p>
まとめ	<p>児童にその時間のめあてが達成できたか振り返らせる。</p> <p>次回の学習の課題を見つけさせ、意欲をもたせる。</p>	<p>自分の頑張りとともに、友達の頑張りにも目を向けさせ、互いに発表しあって、認め合う。</p>	<p>自分のめあてに向かって運動できたか振り返らせる。</p> <p>課題を次時のめあてにつなげさせる。</p>	<p>友達のよい動きや言葉を紹介し、価値付けする。</p>	<p>わかったことや今後の生活に生かしたい事柄について、ワークシートにまとめさせたり、意見交換をさせたりする。</p>

学校番号(1) 学校名(旭丘小学校) 教科名(理科)

各教科の1単位時間の配慮点

	指導の配慮点	評価の観点			
		関心・意欲・態度を向上させるための手立て	思考・判断・表現を向上させるための手立て	技能を向上させるための手立て	知識・理解を向上させるための手立て
導入	本時の観察、実験の課題・問題をはっきり明示し、学習内容をしっかりとつかませる。 実験結果の予想をさせ、見通しをもたせる。	今までの経験や既習事項から考えさせる。 予想した理由や根拠なども書かせ。	問題を解決するために、実験方法が適切かどうかを確認させる。	グループ実験では、全員が関わるようにさせる。	結果・考察・結論の違いを指導し、その違いを意識して記録をまとめさせる。
展開	3年～6年までノート指導を統一し、問題解決の方法を知る。 実験結果の予想や理由などを書いた後、安全のため教科書やノートは片付ける。 安全に実験できるように実験上の注意点は掲示する。 安全に器具を使用できるよう、実験が始まる前に全体で使い方の確認をする。	児童の考えや発想を教師が認め、話し合いをしやすいとする。 グループを机間指導し、上手にできているところをほめたり、助言したりして意欲を引き出す。	お互いの意見を尊重し、考えに違いがあっても実験で解決するという方法を理解させる。 結果や考察、根拠を明確にしながら発表させたり、まとめたりさせる。	道具を上手に使うコツを児童にも聞き、児童の言葉を使って確認する。	実験結果について予想と比べて同じなのか違うのか、またそうなった理由を考えさせる。 結論は自分の言葉でまとめさせる。
まとめ	実験結果からどのようなことが言えるか考えさせる。意見交換をし、この時間の課題・問題にたいする結論を学級全体でまとめる。 簡単な自己評価や相互評価も取り入れる。	まとめでは、科学的な理由によって変化があることに気付かせる。 本日の学習をふりかえさせる。	結果・考察・結論の違いをしっかりと確認して、一つ一つ自分の言葉で表現させる。	正しく器具を使用しているグループはほめ、正しく安全に器具を使うことの大切さを学ばせる。	本時のまとめから、新たな疑問点やさらに調べてみたいことを考えさせる。

学校番号(1) 学校名(旭丘小学校) 教科名(音楽)

各教科の1単位時間の配慮点

	指導の配慮点	評価の観点			
		関心・意欲・態度を向上させるための手立て	思考・判断を向上させるための手立て	表現・技能を向上させるための手立て	知識・理解を向上させるための手立て
導入	<p>(授業規律)</p> <p>チャイム着席、私語をつつしむことができるよう指導し、学習規律を確立する。</p> <p>(板書、教材提示)</p> <p>本時の流れやねらいを提示する。楽譜・歌詞は必要に応じて掲示する。</p> <p>今月の歌などを歌い、音楽の学習に向かう雰囲気作りをする。</p>	<p>本時のめあてを知り、授業に取り組む姿勢を意識させる。</p>	<p>本時のねらいについて、自分なりの具体的な目標をもたせる。</p>	<p>姿勢、口形・発音など必要に応じて声をかける。</p> <p>範唱を聴いて歌ったり、友達の歌声や伴奏を聴かせたりして歌ったり、楽器の演奏をしたりする。</p>	
展開	<p>本時の曲の範唱、範奏を聴く。(指導者の範唱、範奏、CDなど)</p> <p>気持ちを考えながら、表現の仕方を工夫させる。(速度、強弱、リズム、音の高低、声の出し方、発音、音色)</p> <p>工夫して表現した演奏を聴き、自分の表現をよりよくしようとする向上心がもてるよう声をかける。</p>	<p>楽曲の感じをつかみ、思いをもたせ表現させる。</p> <p>友達と協力しながら演奏し、音楽活動を楽しませる。</p>	<p>旋律の抑揚やリズム、楽曲の特徴を感じ取り表現の仕方を工夫させる。</p> <p>身体を動かしたり、歌ったりしながら拍の流れを感じ取らせる。</p> <p>友達の発表を聴き、工夫している点やよさに気付かせる。</p>	<p>息の使い方や発音に留意し、音程やリズムを正しく演奏させる。</p> <p>豊かな表情で、旋律を丁寧に歌わせる。</p> <p>楽曲の気分や情景を表すために、歌声や音の出し方に気をつけて演奏させる。</p>	<p>様子を思い浮かべながら、楽曲全体の曲想を感じ取らせる。</p> <p>拍の流れや旋律の違いを感じ取らせる。</p> <p>楽譜に書かれてい音符や楽語を意識し、表現する際の参考にさせる。</p>
まとめ	<p>学習した活動内容をまとめ、表現するねらいに即した評価を行う。</p>	<p>簡単な自己評価や友達との相互評価(友達のよさ)を取り入れ、本時の学習を振り返らせる。</p>	<p>友達の演奏を聴き、自分の演奏を振り返り、感じたことを発表させる。</p>	<p>本時で学習したことを確認し、演奏させる。</p>	<p>まとめの演奏を聴き、感想を書いたり、発表したりする。</p>

学校番号(1) 学校名(旭丘小学校) 教科名(家庭)

各教科の1単位時間の配慮点

	指導の配慮点	評価の観点			
		関心・意欲・態度を向上させるための手立て	思考・判断を向上させるための手立て	表現・技能を向上させるための手立て	知識・理解を向上させるための手立て
導入	(授業規律) チャイム着席をして学習用具を準備させる。 身支度や道具の準備を安全に行うようにさせる。	生活に即した問題を提起し、本時のめあてをつかませて学習意欲を高める。	生活に即した場面を想起させ、問題について考える視点をもたせる。	準備した道具を安全に使用して目標を達成するための留意点について考えさせる。	ワークシートに、わかりやすく記録させる。
展開	安全に配慮し、注意事項を全体に提示する。 学習の過程で、個別に指導しながら助言する。 見本や手本を提示したり、グループの友達と教え合ったりして学習を深めていく。	意欲的に学習活動をしている児童を賞賛し、意欲を高める。 机間指導をし、質問に応じたり、新たな視点を与えたりする。	身支度や道具の使い方について考えながら学習に取り組みさせる。	技術的に優れた児童を賞賛し、グループや友達どうしで教え合いながら学級全体に広めていく。	できるようになったことや新しく得た知識をワークシートにまとめる。
まとめ	学習して分かったことや感想、家庭で実践したいことについてまとめさせ、発表させることで、次回の学習や家庭実践につなげるようにする。 簡単な自己評価や相互評価を取り入れる。	発表を通して、様々な実践があることに気付かせ、家庭で実践しようとする態度を育てる。 本日の授業をふりかえる時間を確保する。	家庭で実践するための準備について考えさせる。	具体的に考えさせることで、家庭で実践できる技能を養う。	得た知識を生かして、実際の生活の中で、自分や家族のためにできることを実践できるように、家庭学習課題を渡す。

学校番号(1) 学校名(旭丘小学校) 教科名(国語)
各教科の1単位時間の配慮点

	指導の配慮点	評価の観点			
		関心・意欲・態度を向上させるための手立て	思考・判断を向上させるための手立て	表現・技能を向上させるための手立て	知識・理解を向上させるための手立て
導入	チャイム着席、机や机上の整理整頓を繰り返し指導し、学習に向かう態度を養う。 教材を工夫し、学習への興味関心を高める。 これまでの学習の流れと本時のめあてを確認する。	関心・意欲が高まるような導入を工夫する。場合によっては視聴覚教材等も利用する。 本時のめあてや学習全体の流れを掲示しておき、見通しをもたせる。 全員が発言できる発問をし、認める。	前時の学習の振り返りや、課題を提示し、学習内容を確認する。 前時での児童の記述したもの等を紹活用し、本時の学習に生かす視点をもてるようにする。	前時の学習内容などを発表しあう。	ノートやプリントを見て確認させる。
展開	具体物を活用するなど、あらすじや登場人物、出来事などを想像しやすいような学習を展開する。 児童の実態とねらいにそった課題設定をし、それを解決していくことに重点を置く。 発達段階に応じて、課題にそった意見の交流の場をもつ。また、学年にあった人数設定を行う。	範読・グループ読み・丸読み・役読みなどいろいろな音読を取り入れる。 児童の気づき・疑問を拾い上げ、学習のめあてとする。 学習方法を工夫し、発表機会などを設ける。	自力解決の時間を確保する。 友達との意見交換や、聞きあいなどグループ交流をしながら、気づきや考えの再構築する場を設定する。	叙述を中心に読み進め、言葉を手がかりに想像させる。 指導事項をおさえ、多様な表現方法を学習させ、自分の表現に生かせるようにする。 語と語、文と文をつなぐ言葉に気をつけて読んで読む。	例示を示したり、スモールステップで学習を進めたりする。 言葉の使い方や意味など、積極的に辞書を活用する。 自力解決にむけて個にあったプリントやヒントカードを準備する。
まとめ	学習のねらいや指導法が適切だったか振り返り、評価する。 自己評価や相互評価も取り入れる。	簡単な自己評価や相互評価を取り入れ、学習の振り返りをする。 次の学習への見通しをもつ。	前時の学習とつなげて、本時で理解が深まったことを考える。	友達の考えのよさや、自分もやってみようと思うところを見つけさせる。 まとめの読みをする。	書く・読むなどの活動の振り返りをする。